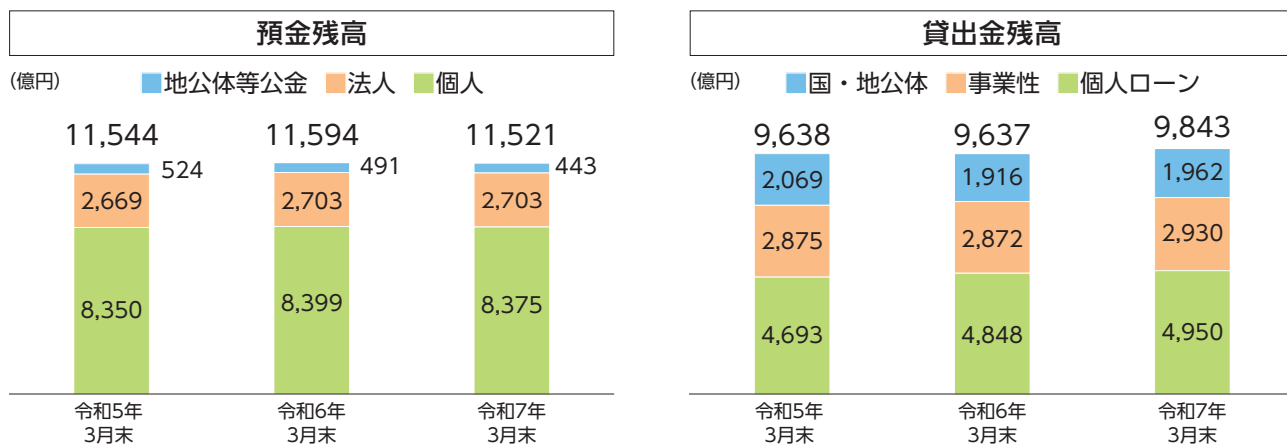


業績の推移

■ 預金・貸出金の状況

預金は、安定した取引基盤の拡充と預金の増強に積極的に取り組みましたが、地公体向け預金などが減少しました結果、前期末比72億円減少して1兆1,521億円となりました。

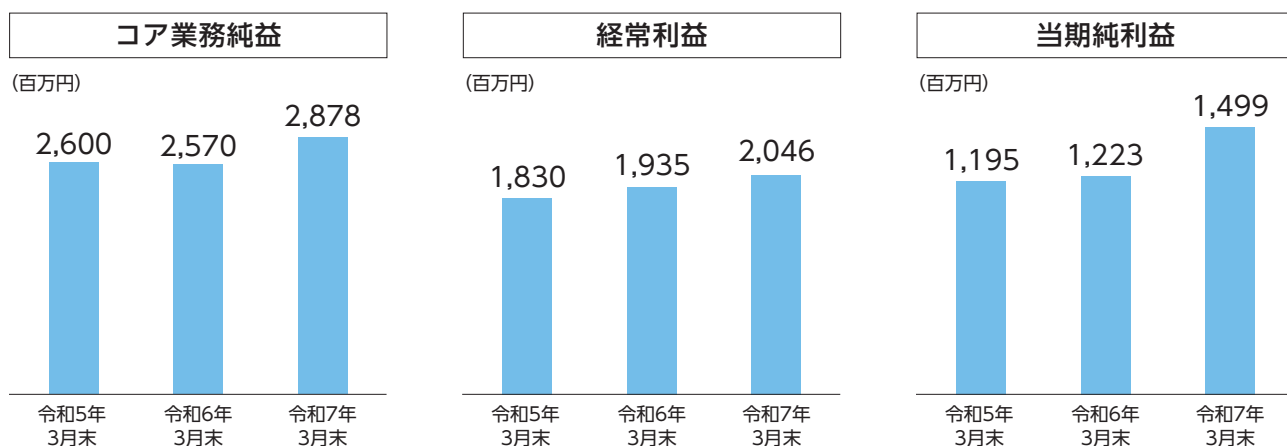
貸出金は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンの増強などに積極的に取り組みました結果、前期末比205億円増加して9,843億円となりました。



■ 損益の状況

コア業務純益は、資金利益が増加しましたことから、前期比3億8百万円増加して28億78百万円となりました。

また、経常利益は、前期比1億10百万円増加して20億46百万円、当期純利益は、前期比2億76百万円増加して14億99百万円となりました。



用語のご説明

● コア業務純益

預金や貸出金、為替業務など、銀行本来の業務から生まれる利益を表した業務純益から、「一般貸倒引当金繰入額」および「国債等債券の損益」を除いたもので、より純粋な銀行本来の業務による利益です。

● 経常利益

経常収益から経常費用を控除した利益で、銀行の経常的な事業活動によって生じた利益です。

● 当期純利益

経常利益から、特別損益や法人税等を調整した利益です。